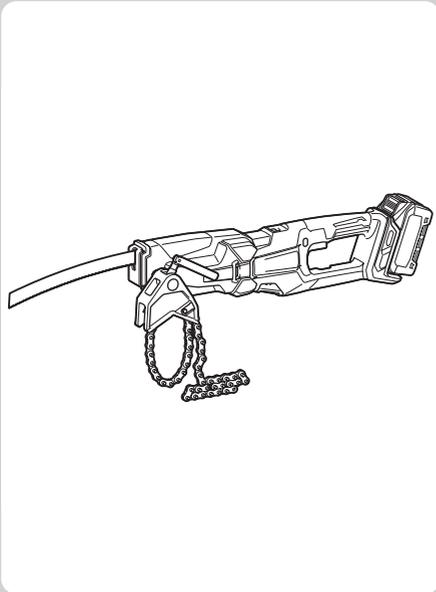




取扱説明書

充電式 レシプロソー

モデル JR003G



このたびは充電式レシプロソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は
お手元に大切に保管して
ください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	14
標準付属品の確認	15
別販売品のご紹介	16

ご使用前の準備

バッテリーの充電	17
バッテリー/充電器の取り扱い	18
使用前に知っておいていただきたいこと	19

使い方

ブレードの取り付け/取りはずし方法	21
バッテリーの取り付け/取りはずし方法	23
ブレードクランプの交換	24
本製品の操作	26
・ スイッチの操作	26
・ ストローク数調整ダイヤルの操作	27
切断方法	29
・ チェーンバイスを使用する場合	29
・ チェーンバイスを使用しない場合	32
使用後の取り扱い	34
・ シューのお手入れ	34
・ チェーンバイスのお手入れ	34
・ 通気口の清掃	35
・ 本製品のお手入れ	35

保守/点検

故障かな?と思ったら	36
------------	----

はじめに

主要機能

主要機能	モデル
電動機	JR003G DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー	リチウムイオンバッテリー 「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧	直流 36 V (40 V max) ※
ストローク長	26 mm
ストローク数	0 ~ 2,200 min ⁻¹ (回 / 分)
切断能力	鋳鉄管 (モルタルライニングあり) : 外径 169 mm (全長 280 mm ダイヤブレード使用時) 鋳鉄管 (モルタルライニングなし) : 外径 220 mm (全長 350 mm ブレード使用時) 鋼管 : 外径 220 mm (全長 350 mm ブレード使用時) ステンレス管 : 外径 220 mm (全長 350 mm ブレード使用時)
防じん・防水保護等級	IPX6

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ : 40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量※	本製品寸法※ 長さ×幅×高さ
BL4020	4.3 kg	574 mm × 103 mm × 152 mm
BL4025	4.3 kg	
BL4040	4.5 kg	583 mm × 103 mm × 152 mm
BL4040F	4.5 kg	
BL4050F	4.9 kg	609 mm × 103 mm × 170 mm

※：チェーンバイス、ブレード非装着時

1 回の充電での作業量（チェーンバイス使用時）

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 数値は材質、ブレードの切れ味などにより異なります。
- ・ スイッチレバーを最大に引き込んだ状態での値です。

材料	使用ブレード	ストローク数 調整ダイヤル	切断量
			バッテリー BL4040
鋳鉄管（モルタルライニングあり） （外径 118 mm、厚さ 10 mm）	A-00304	5	約 2 本
鋳鉄管（モルタルライニングなし） （外径 118 mm、厚さ 6 mm）	A-00267	5	約 17 本
鋼管 （外径 114.3 mm、厚さ 4.5 mm）	A-00267	5	約 26 本
ステンレス管 （外径 114.3 mm、厚さ 3 mm）	A-00267	1	約 23 本

注

- ・ 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本製品を 15 分以上休止させてください。

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外を使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを押し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式レスプロソー安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式レスプロソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると、ノコ刃（レスプロソーブレード）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本製品が振られ、けがの原因になります。
3. 使用中は、ノコ刃（レスプロソーブレード）や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃（レスプロソーブレード）や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 中に水が入ったパイプを切断する場合は、本製品に水がかからないようにしてください。
 - ・ 本製品に水がかかると故障や感電の恐れがあり、事故の原因になります。

⚠ 注意

1. ノコ刃（レスプロソーブレード）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃（レスプロソーブレード）および取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
 - ・ ブレードがはずれたり、折れたりして、けがの原因になります。
3. 作業直後のノコ刃（レスプロソーブレード）は大変熱くなっていますので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0～3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

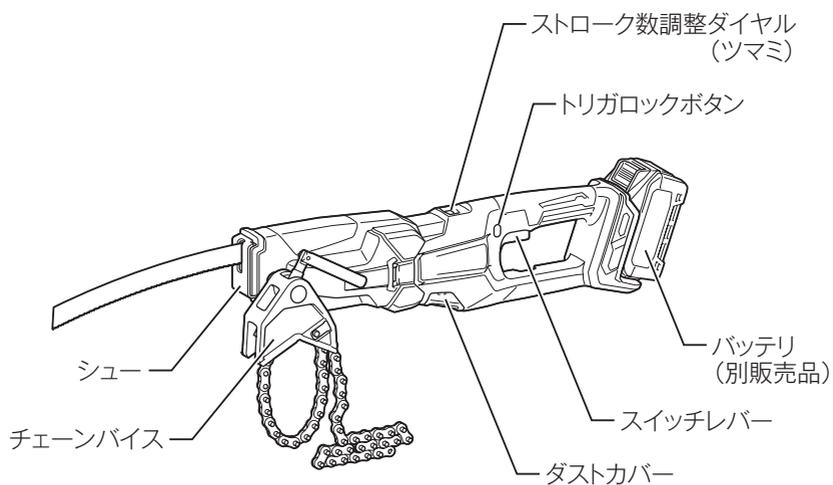
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0～3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている。（防じん形）
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている。（耐じん形）
X	規定しない

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具体体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称



標準付属品の確認

標準付属品	モデル	JR003GZK
バッテリー		×
充電器		×
ブレード (湾曲ブレード 300 mm)		○
チェーンバイス (バイスアッセンブリ)		○
フロントグリップ		○
グリップシャフト		○
六角穴付ボルト M5 × 20		○
六角棒スパナ 4		○
プラスチックケース		○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バイスアッセンブリ（標準付属品）
部品番号：A-00223
- ・ ブレードクランプ（標準付属品）
部品番号：A-00332

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

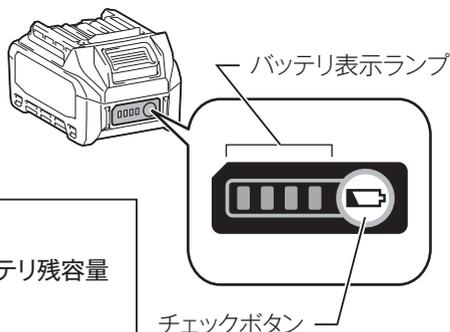
ご使用前の準備

バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ▨ ▨ ↓ ↑	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品およびバッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品からバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ いったんスイッチを放し、本製品からバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(36 ページ参照)に従って点検してください。

各種機能

■ ソフトスタート

- ・ スイッチを入れたとき、スムーズに動き始めます。

■ 定回転制御

- ・ 作業中負荷がかかっても工具の回転数が下がりにくく、回転数を維持するので高い作業性が得られます。

■ 電気ブレーキ

- ・ スイッチレバーを放すと、電氣的に回転を止めます。ただし、バッテリーの残容量が無くなった場合、スイッチを入れたままバッテリーを抜いた場合や過負荷保護などの保護機能が作動した場合は、電気ブレーキは作動しません。また、バッテリーの残容量がある場合で、スイッチレバーを放しても本製品がすぐに停止しない状態が続く場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

■ 再起動防止

- ・ 本製品には再起動防止機能を備えています。
スイッチレバーを引いた状態でバッテリーを差し込んでも起動しません。
その際は、スイッチレバーを放してから、再度スイッチレバーを引くと起動します。

六角棒スパナ 4 の収納

- ・ 六角棒スパナ 4 を使用しないときは、図のように本製品に収納してください。



使い方

ブレードの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

ブレードの取り付け、取りはずしの際は、必ずバッテリーを抜いてください。
・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。

- ・ ブレードの取り付けが不完全となり、はずれたり折れたりして、けがの原因になります。

ブレードは確実に取り付けてください。

- ・ 確実でないと、はずれたり、けがの原因になります。

作業直後のブレードは大変熱くなっていますので触れないでください。

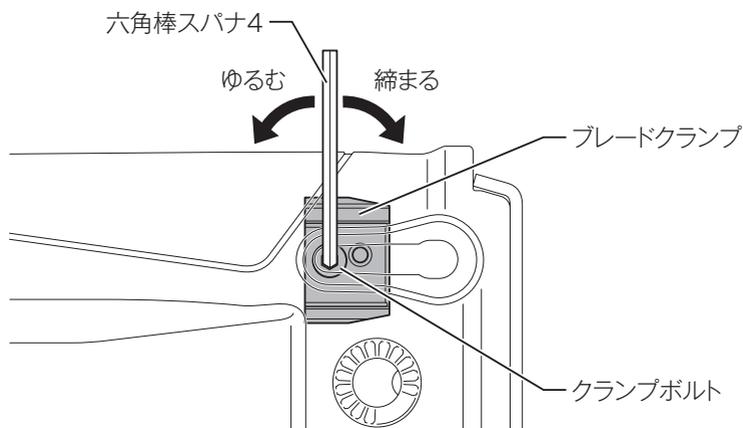
- ・ やけどの原因になります。

ブレードを取りはずす際、ブレードの刃先、切削クズなどに注意してください。

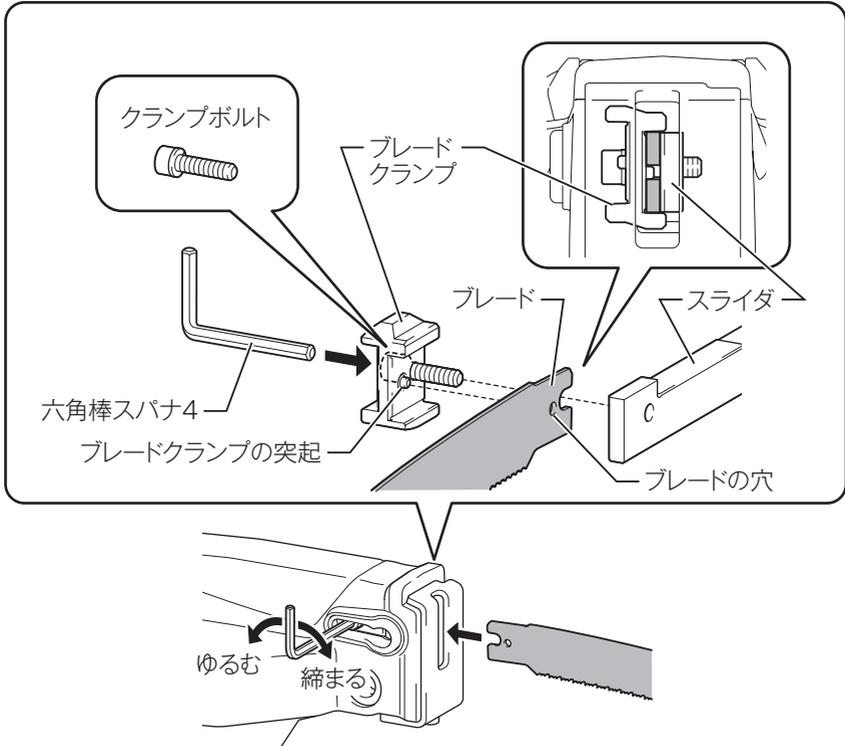
- ・ けがの原因になります。

取り付け方

1. 本製品に付属の六角棒スパナ4で、ブレードクランプを固定しているクランプボルトをゆるめます。



2. ブレードをスライダとブレードクランプの間にまっすぐ挿し込み、ブレードクランプの突起をブレードの穴に合わせます。
3. クランプボルトを六角棒スパナ4でしっかりと締め付け、ブレードクランプを固定します。



4. ブレードを軽く引っ張り、抜け落ちないことを確認します。

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

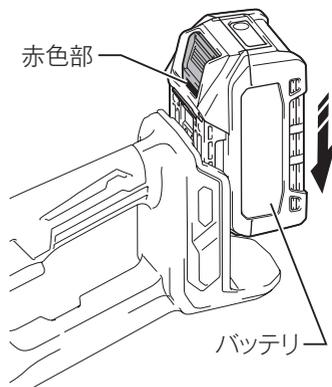
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

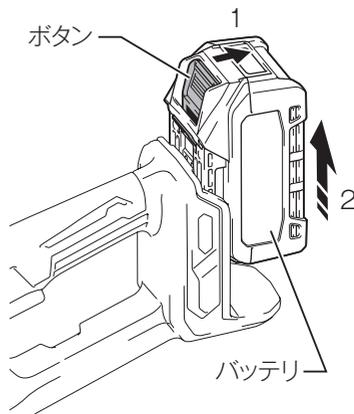
- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4040の取り付け例です

取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



ブレードクランプの交換

⚠ 警告

必ず使用するブレードに適したブレードクランプを使用してください。

- ・ ブレードの取り付けが不完全となり、はずれたり折れたりして、けがの原因になります。

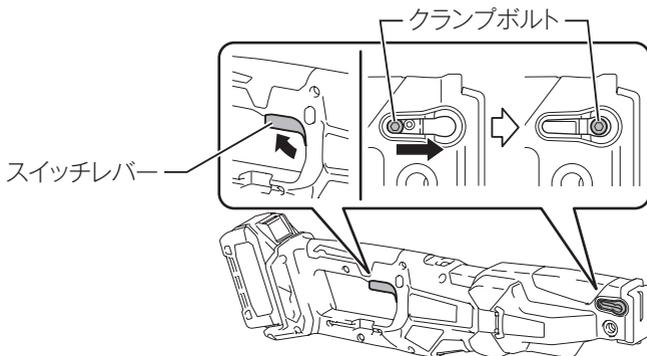
ブレードクランプは確実に取り付けてください。

- ・ 確実でないと、はずれてけがの原因になります。

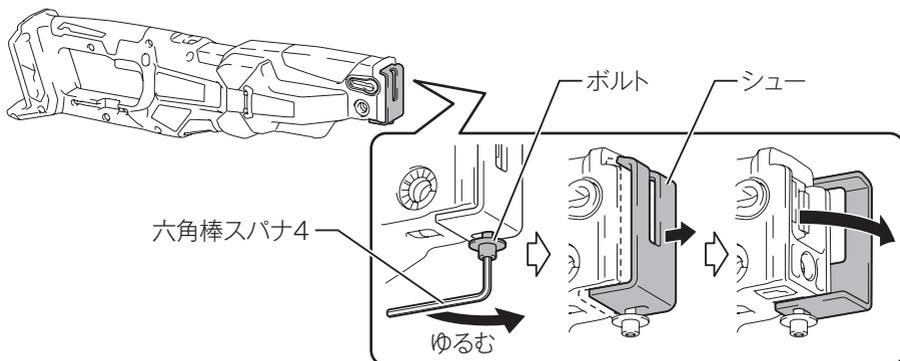
- ・ ブレードクランプは両面とも使用可能です。片面が摩耗したら向きを変えて取り付け、もう片面を使用してください。

交換方法

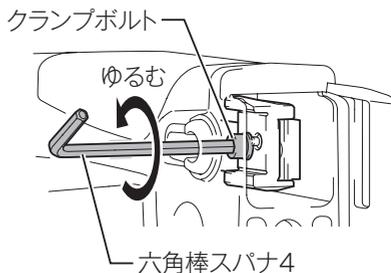
1. バッテリーを本製品に取り付けます。
2. スイッチレバーを軽く引いて、クランプボルトを下図の位置に移動させます。その後、本製品からバッテリーを取りはずします。



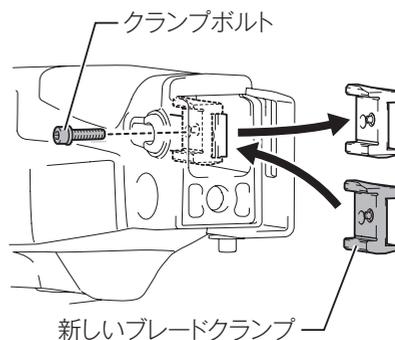
3. 六角棒スパナ 4 でシューを固定しているボルトをゆるめ、シューを開きます。



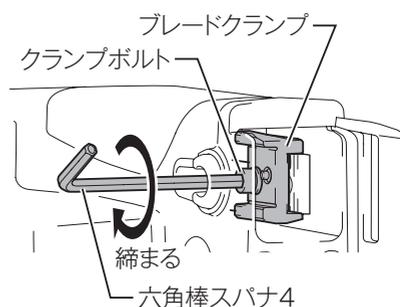
4. 六角棒スパナ 4 でクランプボルトを取りはずします。



5. ブレードクランプを取りはずし、右図のような向きで新しいブレードクランプを取り付けます。



6. クランプボルトを締めてブレードクランプを固定します。



7. シューを閉じて六角棒スパナ 4 でボルトをしっかりと締め付けます。

本製品の操作

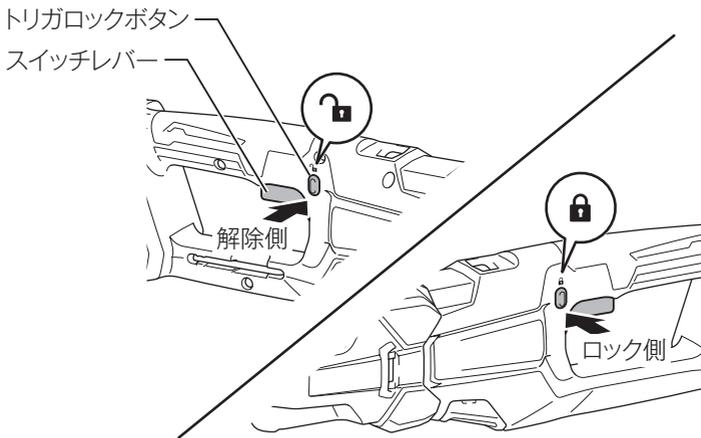
スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

1. トリガロックボタンを  (解除側) から押し込みます。
2. スイッチレバーを引くとスイッチが入り、スイッチレバーを放すとスイッチが切れます。
 - ・ スイッチレバーの引き加減によりストローク数が調整できます。
 - ・ トリガロックボタンを  (ロック側) から押し込むとスイッチレバーが引けなくなり、スイッチレバーをロックすることができます。



注

- ・ 本製品を使用しないときは、トリガロックボタンを  (ロック側) から押し込んだ状態にしておいてください。

ストローク数調整ダイヤルの操作

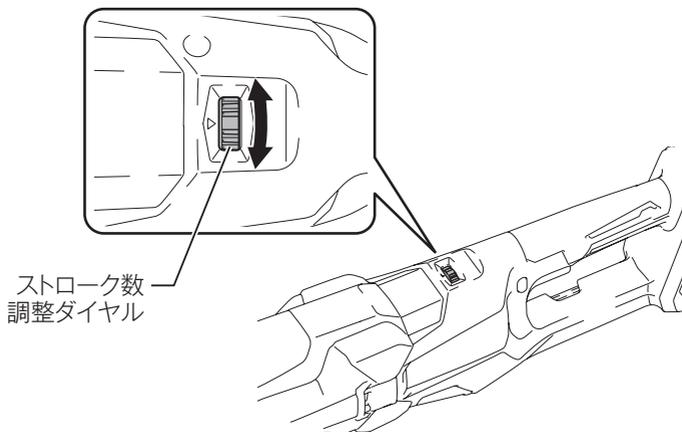
⚠ 注意

ダイヤルは必ず 1 → 2 → 3 → 4 → 5、5 → 4 → 3 → 2 → 1 の順番に回してください。

- ・ ストローク数調整ダイヤルは一周しません。
- ・ 無理に回しますと、故障の原因になります。

- ・ ストローク数の調整はストローク数調整ダイヤルで行います。
- ・ 作業内容によりストローク数を無段階に調整することができます。

1. ストローク数の目安（28 ページ参照）を確認して、切断する材料にあったストローク数を調整します。



2. ご希望のダイヤル数に調整した後は、切断方法（29 ページ参照）に従って作業をします。

■ ストローク数の目安

- ・ ストローク数調整ダイヤルを回すことにより、0 ~ 2,200 min⁻¹ (回 / 分) の間で自由にストローク数が変わります。
- ・ ダイヤル表示は 1 ~ 5 まであり、数字が大きくなるに従ってストローク数は多くなります。
- ・ 作業中でもストローク数の調整が可能です。

ストローク数 調整ダイヤル	ストローク数 min ⁻¹ (回 / 分)
5	0 ~ 2,200
4	0 ~ 1,850
3	0 ~ 1,500
2	0 ~ 1,150
1	0 ~ 800

- ・ 材料の種類に合ったダイヤル表示を選んでください。

材料	ダイヤル表示
鋳鉄管	5
鋼管	2 ~ 5
ステンレス管	1

注

- ・ 一般的に高速では速く切れますが、ブレードの寿命が短くなります。また、低速では速く切れませんが、ブレードの寿命は長くなります。適宜調整してください。
- ・ 低速で長時間の連続作業は、モータの寿命が短くなる要因となります。
- ・ ステンレス鋼管切断時のブレード回転数は低速のため、押し付けが強すぎると過負荷保護回路が作動する場合がありますが、異常ではありません。
- ・ ブレードを加工物に当てないで無負荷運転すると、ブレードが振れて折れる恐れがあります。
- ・ 切粉などがブレード取り付け部周辺にたまらないように、その都度清掃しながら作業してください。

切断方法

⚠ 警告

シューを取りはずしたり、材料から離して使用したりしないでください。反動が大きくなります。また、急激にブレードをひねるような切断はしないでください。

- ・ ブレードがはずれたり、折れたりしてけがの原因になります。

金属を切断するときは熱い切粉が出ますので、必ず手袋を着用してください。

- ・ やけどの原因になります。

ブレードは、シューからのブレードの突き出し量が最小の場合でも、切断材料から十分に出るように選んでください。

- ・ ブレードがはずれたり、折れたりしてけがの原因になります。

⚠ 注意

シューが固定されていない状態で使用しないでください。

- ・ 故障やけがの原因になります。

シューがブレードと接触した状態で使用しないでください。

- ・ 故障やけがの原因になります。

金属を切断する場合は切削油を塗布してください。

- ・ 塗布しないと、ブレードの摩耗が早まる原因になります。

チェーンバイスを使用する場合

チェーンバイスを使用しない場合の切断方法は、32 ページを参照してください。

⚠ 警告

チェーンバイスの取り付け、取りはずしの際は、必ず本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

ハンドル以外の部分に手を添えたり、握ったりしないでください。

- ・ けがの原因になります。

チェーンバイスを材料の切り落とし側に取り付けて切断しないでください。

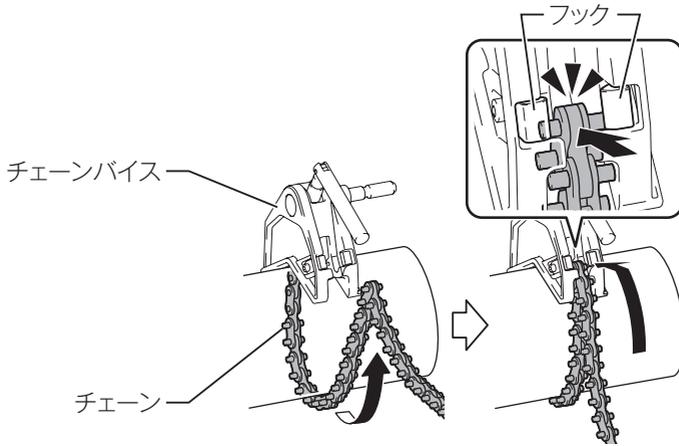
- ・ 切り落とされた材料と一緒にチェーンバイスが落下して、事故やけがの恐れがあります。

1. ブレードを本製品に取り付けます（21 ページ参照）。

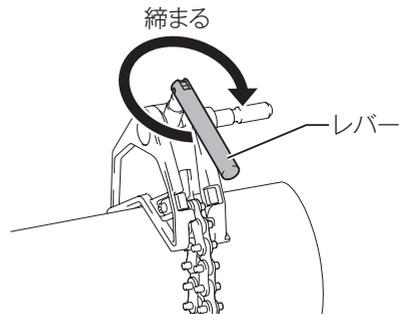
注

- ・ 切断する材料に応じて、適したブレードを取り付けてください。

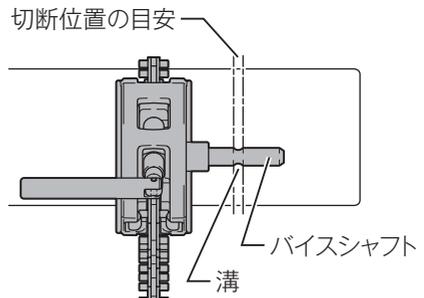
- チェーンバイスを加工物に配置し、下図のようにチェーンを加工物に巻き付けた後、チェーンバイスのフックに押し込んで取り付けます。



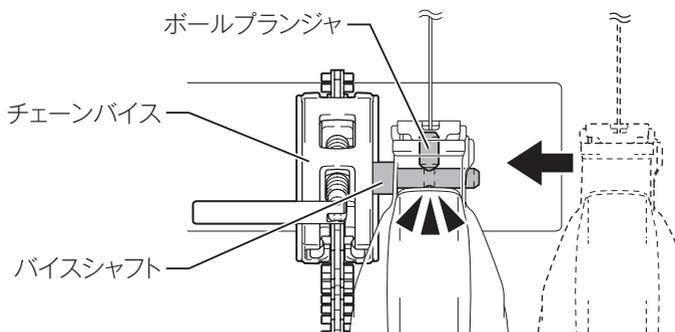
- レバーを時計回りに回してチェーンを締め付け、チェーンバイスをしっかりと固定します。



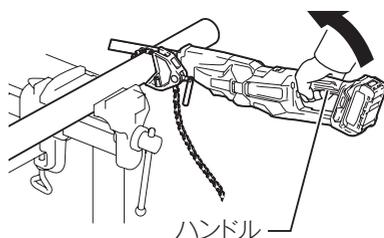
- バイスシャフトの溝が切断位置の目安になります。



4. 本製品の先端部にある穴をバイスシャフトに合わせて挿し込みます。バイスシャフトの溝にボールプランジャがはまって固定されていることを確認します。



5. ブレードを材料に軽く接触させた状態でスイッチレバーを引き、ハンドルを持ち上げながら徐々に切り込みます。



6. 切断作業後にチェーンバイスを取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

注

- ブレードを材料に当てないで無負荷運転すると、ブレードが振れて折れる恐れがあります。
- 切粉などがブレード取り付け部周辺にたまらないように、その都度清掃しながら作業してください。

チェーンバイスを使用しない場合

チェーンバイスを使用する場合の切断方法は、29 ページを参照してください。

- ・ チェーンバイスを使用せずに切断作業を行う際は、フロントグリップの取り付けが必要です。

⚠ 警告

フロントグリップの取り付け、取りはずしの際は、必ず本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

チェーンバイスを使用せず切断作業を行う際は、必ずフロントグリップを取り付け、両手で本製品を確実に保持して作業してください。

- ・ 確実に保持していないと、事故やけがの原因になります。

フロントグリップとハンドル以外の部分に手を添えたり、握ったりしないでください。

- ・ けがの原因になります。

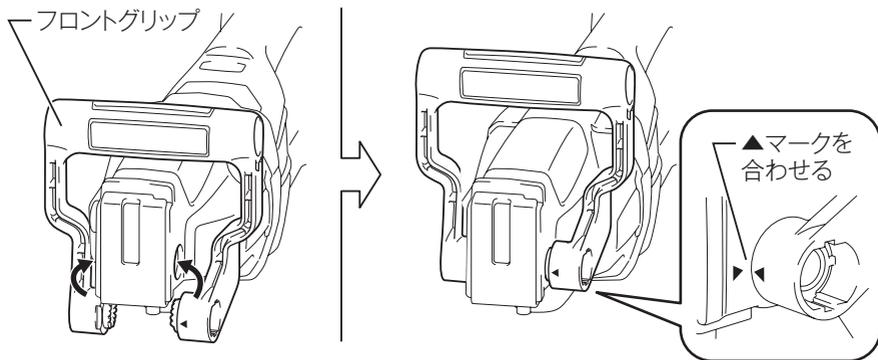
切断作業完了時にフロントグリップを保持している手が被削材に当たらないよう十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。

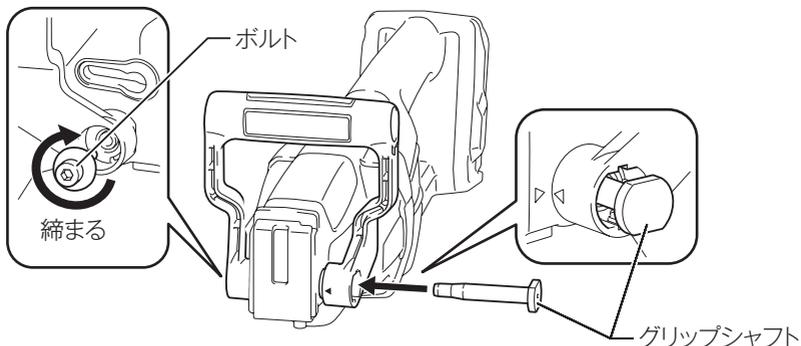
切断時は厚手の手袋を着用してください。

- ・ けがの原因になります。

1. 下図のように、本製品の穴にフロントグリップを取り付けます。
このとき、本製品側の▲マークとフロントグリップの▲マークが合うように取り付けます。



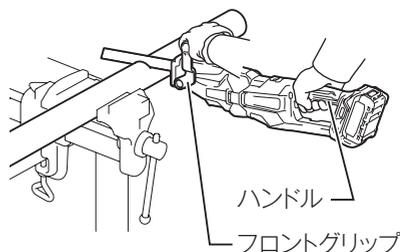
2. グリップシャフトを▲マークがある側の穴から挿入し、反対側からボルトを締めて固定します。



3. ブレードを本製品に取り付けます (21 ページ参照)。

注

- ・ 切断する材料に応じて、適したブレードを取り付けてください。
4. 両手でフロントグリップとハンドルを保持します。
 5. シューをしっかりと材料に押し当てます。
ブレードを材料に軽く接触させた状態でスイッチレバーを引き、徐々に切り込みます。
 6. 切断作業後にフロントグリップを取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。



注

- ・ ブレードを材料に当てないで無負荷運転すると、ブレードが振れて折れる恐れがあります。
- ・ 切粉などがブレード取り付け部周辺にたまらないように、その都度清掃しながら作業してください。

使用後の取り扱い

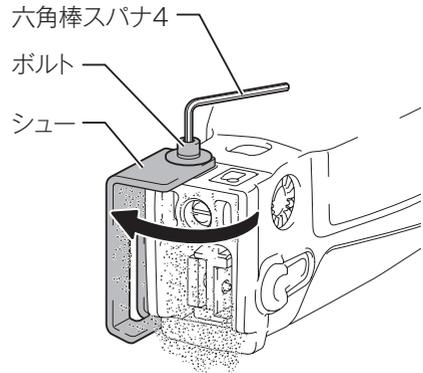
⚠ 警告

点検、整備の際には必ず本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

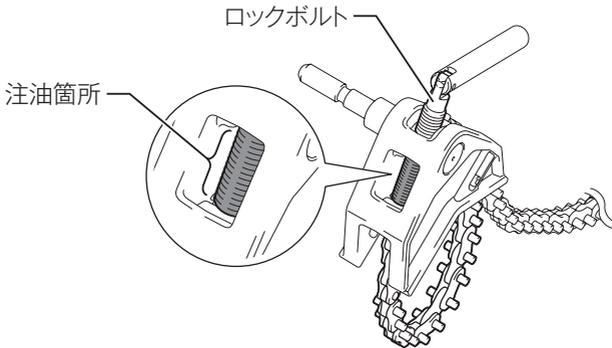
シューのお手入れ

- ・ 六角棒スパナ 4 でボルトをゆるめてシューを開きます。
内部からほこりや切粉を取り除きます。掃除が終わったらシューを閉じ、六角棒スパナ 4 でボルトをしっかりと締め付けます。



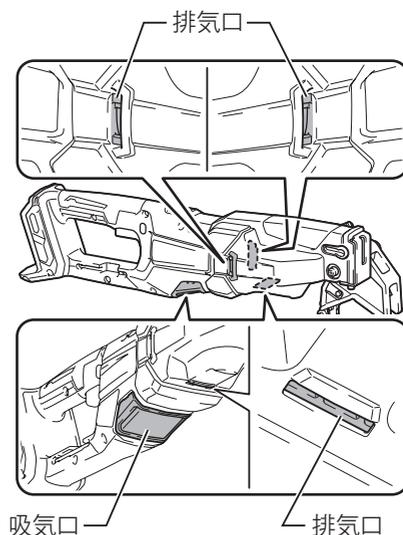
チェーンバイスのお手入れ

- ・ ロックボルトの図の箇所に定期的に注油してください。ネジの摺動性が良くなり、固定力を確保できます。



通気口の清掃

- ・ 吸気口、排気口は定期的に掃除してください。吸気口、排気口が詰まると故障の原因となります。



- ・ 使用後はダストカバーを取りはずして、付着したほこりや切粉などを取り除いてください。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 19 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881L19-8
CRE

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)